

四国ジュニア大会(シングルス) ドロー作成細則

1. エントリーリストの作成

各県エントリーリストから、大会ドロー数の1/4の人数を上位より選出する。(16 ドローであれば上位4名ずつ)

選出された選手のうち四国ジュニアランキング上位4名を四国枠での出場とし、その後、各県のエントリーリストに残っている選手が各県枠で出場が確定となる。

各県出場枠が確定次第、HP に掲載する。

2. 補欠選手の取り扱い

各県出場枠の次点の選手を補欠選手とする。

ドロー作成前に欠場者が出た場合、その所属県の補欠選手が出場となる。ただし、四国枠の選手が欠場となった場合は、四国ジュニアランキングの次の順位の選手が四国枠での出場となり、その所属県の補欠選手が出場となる。

ドロー作成後に欠場者が出た場合、補欠リストの最上位の選手が出場となる。

補欠リストの順位は、四国ジュニアランキングの順とする。

なお、欠場をした選手は、その後いかなる理由があろうと再エントリーすることはできない。

3. シードの選考

確定した出場選手から、原則として四国ジュニアランキングよりシード選手を選考する。

ただし、以下に該当する場合は特例として、四国ジュニアランキングが下位であってもシード選手に選考することがある。

①ジュニアナショナルチームの選手

②JTA 公式事業として行われる強化・育成活動に参加することにより、過去1年間に
出場できなかった四国ジュニア大会のある選手

③当該全国大会のシード基準を満たしている選手

④過去1年間に全国大会で優秀な成績を残している選手

⑤過去1年以内に他国・他地域から転入し、客観的に認められる実績のある選手(ジュニアランキング規定の基準大会数分の大会をシード選考の対象とする)

①～⑤のいずれかに該当する選手がいる場合、四国ジュニア委員会で協議し、決定する。

4. ドローの作成

大会要項に記載されたドロー抽選会の日に、トーナメントプランナーを使用してドローを作成する。その際、以下の条件を付ける。

・各県申込順位1位の選手は、1回戦でシード選手と対戦しない

・同県の選手同士は1回戦で対戦しない(ただし、この条件を適用するのはドロー数の1/4までの申込順位の選手同士とし、1/4を超える申込順位の選手は、同県の選手と1回戦で対戦する場合がある)

5. その他

中国四国チャレンジマッチ・高校四国総体・四国高校新人大会の3大会については、それぞれ大会独自の方法で、シード選考・ドロー作成を行う。

その他、ドロー作成については、(公財)日本テニス協会発刊「JTA TENNIS RULE BOOK」に準ずる。